

1. 本授業科目の基本情報

科目名（コード）	文書理解Ⅱ		（ TCM108 ）
講義名（コード）	TCM_文書理解Ⅱ_B		（ TCM108B ）
対象学科	国際コミュニケーション学科	配当学年	1学年
対象コース	日中医療通訳コース	単位数	2
授業担当者	野澤 涼子口	時間数	30
成績評価教員	野澤 涼子口	講義期間	秋学期
実務者教員		履修区分	必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2. 本授業科目の概要

到達目標・目的	国際力・人間力教育における、コミュニケーション分野の学びの中で、学生が自分とは異なる様々な主張を理解するために、様々な形式の文章から統合的に必要な情報を読み取れるようになる。
全体の内容と概要	日本語能力試験N1レベルの文字語彙と聴解を学び、日本語学習者として高いレベルの日本語表現理解について学ぶ。
授業時間外の学修	適宜宿題を出す。
履修上の注意事項等	試験会場と同様、携帯電話の使用は認めない。常に試験会場と同じ気持ちで受験すること。

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理能力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率× 0.3 （小数点以下切り上げ）	授業中の活動評価点 （5点を基準に加点・減点）
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4. 本授業科目の授業計画

回	到達目標	授業内容
1	N1の問題の特徴を知る	必修パターン聴解 ポイント理解（１） パワードリル 第16回17回
2	N1の問題の特徴を知り問題に取り組める	必修パターン聴解 ポイント理解（２） パワードリル 第18回19回
3	N1の問題の特徴を知る	必修パターン聴解 概要理解（１） パワードリル 第20回 擬音語・擬態語(1)(2)
4	N1の問題の特徴を知り問題に取り組める	必修パターン聴解 概要理解（２） パワードリル 第21回22回
5	N1の問題の型式を知る	必修パターン聴解 即時解答（１） パワードリル 第23回24回
6	N1の問題の特徴を知り問題に取り組める	必修パターン聴解 即時解答（２） パワードリル 第25回 擬音語・擬態語(3)パソコン関係のことば
7	N1の問題の型式を知る	必修パターン聴解 総合理解（１） パワードリル 第26回27回
8	実践的練習を通して時間配分の感覚をつかむ	JLPT模試（聴解）・解説
9	実践的練習を通して時間配分の感覚をつかむ	JLPT模試（聴解）・解説
10	N1の問題の特徴を知り問題に取り組める	必修パターン聴解 総合理解（２） パワードリル 第28回29回
11	N1の問題の特徴を知り問題に取り組める	必修パターン聴解 総合理解（３） パワードリル 第30回 大学生活で使うことば ビジネスで使うことば
12	N1の問題の特徴を知り問題に取り組める	必修パターン聴解 総合理解（４） パワードリル まとめと練習
13		後期のまとめ
14		期末試験
15		期末試験解説・総括

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	日本語能力試験 N1読解 必修パターン 聴解 パワードリルN1 文字語彙
参考文献・資料等	適宜配布
備考	クラスの状況に応じて進度を変えることがあります。